

日本臨床外科学会 国内外科研修報告

東北大学病院総合外科肝胆膵外科グループでの研修を終えて

広島大学大学院医系科学研究科外科学

田妻 昌

この度、2025年度日本臨床外科学会の国内外科研修制度により2025年11月25日から12月5日までの2週間、東北大学病院総合外科肝胆膵外科グループで研修をさせていただく機会を頂戴しましたので、ご報告させていただきます。

まずはじめに、このような大変貴重な機会を与えていただきました日本臨床外科学会の万代恭嗣会長、国内外科研修委員会の高山忠利委員長および委員の皆様、私を推薦いただきました浅原利正広島県支部長に厚く御礼申し上げます。また、ご多忙の中でも研修を承諾頂き温かい指導を賜りました、海野倫明教授をはじめとした東北大学病院肝胆膵外科のスタッフの皆様、研修受け入れの際から様々なご配慮をして頂いた青木先生、研修で不在の間も勤務を支えてくださった広島大学大学院医系科学研究科外科学の皆様にご心より感謝を申し上げます。

私は初期研修終了後、広島大学大学院医系科学研究科外科学に入局し、現在は肝胆膵外科診療に従事しております。これまで広島県内のみでの修練を行ってきたため、他地域・他施設での診療について学ばせていただきたいとの思いから、今回の国内外科研修を希望しました。

東北大学病院総合外科肝胆膵外科グループでは、低侵襲手術から血管再建を伴う高難度な手術まで、多くの肝胆膵手術が行われており、また学会発表や臨床研究など多方面でご活躍されており、ぜひ手術や診療を間近で見たいと考え、この研修を選択させていただきました。

東北大学病院総合外科は、上部消化管・血管グループ、下部消化管グループ、肝胆膵・移植グループ、乳腺・内分泌グループ、小児外科グループからなる大講座であり、私は肝胆膵外科グループでの研修を受け入れていただきました。

研修初日は、総合外科全体でのカンファレンスに参加させていただき、総合外科の各分野の先生方が一堂に会したカンファレンスの規模の大きさに圧倒されましたが、海野教授のもと、皆様が生き生きと発言されており、明るく溶け込みやすい雰囲気を感じました。

肝胆膵外科では海野教授、水間准教授のもと、ローテーターのレジデントの先生を含めた10名以上の先生方が在籍されており、肝胆膵領域の悪性疾患から嚢胞性疾患、慢性炎症疾患まで幅広い領域の診療に携わっていました。

毎週行われる肝胆膵外科スタッフでのカンファレンスでは、外来での新規の患者、術前の患者、入院中の患者まですべての診療に関する情報がチーム内で共有されていました。担当医の先生のプレゼンを中心に、術前の腫瘍の性状や部位だけでなく、細かい血管の走行までチーム全体で画像を確認しながら、細部まで術前のプランニングをされており、チームとしての一体感を抱きました。

病棟診療では2チームに分かれており、各チームに講師の先生をリーダーとして6-7名のスタッフ、ローテーターのレジデントの先生方が所属し、長時間手術や週末の診療など各チームのメンバーが交代制で行っており、多忙な中でも働き方改革に沿った診療体制がとられていました。

肝胆膵外科学会高度技能医・指導医の先生が8名在籍されており、さらに膵臓領域の内視鏡技術認定医の先生方、da Vinci Surgical System術者認定を受けた先生方が在籍されており、低侵襲手術から血管合併を伴う高難度手術まで多岐にわたる手術が行われており、手術に関する知識と経験、引き出しの多

さに感銘を受けました。

私の研修中はロボット支援下を含めた3件の臍頭十二指腸切除術、臍体尾部脾切除術、腹腔鏡下臍尾部腫瘍切除、開腹肝右葉・肝外胆管切除、胆管切除、Frey手術、審査腹腔鏡があり、多岐にわたる手術を見学させていただく機会に恵まれました。いずれの手術でも、私のこれまで経験してきたものとの共通点もあれば、異なる部分もありました。手術の手順や道具の使用法の工夫、術野の展開など、私がこれまでまったく経験したことや想像したこともなかった場面が多数あり、自身の選択肢が広がるような大変貴重な経験をさせていただきました。特に水間准教授には、私が経験したことのない視野展開やアプローチに関して大変丁寧にご指導をいただき、知識や考え方を深めさせていただきました。

術後管理や病棟での診療、化学療法を含めた集学的治療に関しても、自施設とは異なる視点や方法を経験することができました。皆様、手術から化学療法などすべてにおいて非常に意欲的かつ向上心を持っておられ、研修期間中には学年を問わず多く先生方とお話をさせていただき、学ばせていただきました。

また、診療時間以外には夕食に誘っていただき、歓迎会を催していただき、肝胆膵スタッフの先生方からレジデントの先生方まで、皆さんと交流をさせていただき、非常に貴重かつ大切な経験をさせていただきました。

また、海野教授自ら大変ご多忙な中で時間を割いていただき、私に肝胆膵外科医としての在り方から仙台、東北の歴史、魅力まで、非常に気さくに教えていただき、大変感謝しております。

皆様の受け入れのおかげで非常に充実した時間を過ごすことができました。またお会いしましょうと声をかけていただき、嬉しい思いと、この貴重な経験を今後に生かしていくという、身の引き締まる思いを感じております。

最後に改めまして、本研修にご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。大変貴重な機会を作っていただき、誠にありがとうございました。

